

大迷惑な人々

悩めるあなた、丸ごと受け止めます!

志茂田景樹の連載第7回

あたためるコトバ

Profile 1940年静岡県生まれ。さまざまな職業を経て76年に小説家デビュー。'80年に直木賞受賞。執筆の傍ら、テレビでも活躍。不登校児の支援など、社会的活動にも携わっている。

Twitterでの人生相談が大反響の志茂田景樹先生が、読者のお悩みに答えます!

隣家の煙草の臭い、耐え続けるしかない?

N・Yさん (53歳)

10年間、マンションの隣人夫婦の喫煙に悩んでいます。換気扇の下で吸うらしく、我が家の台所へ臭いが入りこんで、そのたび頭痛が。管理会社に苦情を言っても非協力的。でも、やっぱり直接は言いづらくて……。

角を立てずに希望を言うにはコツがあります。それは、「仲間をつくる」こと、「責める・責められる」関係を作らないこと。そこでおすすめるのは、マンション内で同じ悩みを持っている人を探ること。仲間と協力体制を組み、「マンションを室内禁煙にして、

できることをしながら長い目で取り組んで

共用部分に喫煙スペースを作ろう」という運動をしてみてもいい。これならあなただけが「うるさい人」にならずに済むし、隣人夫婦にも逃げ場ができます。ちなみに今後、日本はオリンピックに向けてどんどん禁煙を推進するはず。きっと、マンションの禁煙化も進むでしょう。今できることをしながら腰を据えて待つていけば、未来は明るいですよ。

同僚に根も葉もない噂を立てられて……

J・Bさん (44歳)

職場の60代の同僚2人に、私が「社長とデキてる」という噂を立てられました。もちろん全くの事実無根。しかも、それが私にバレても「だって事実でしょ」と聞き直る始末。どうすれば陰口をやめさせることができるでしょうか?

うツボ。いちいち気にせず、逆におもしろがって観察するのが正解です。いつそ、こちらから話のネタを提供してあげたらいいかがですか? 休日、彼女たちのいそうなところに、夫や家族と仲良く出かけたり、ステキな女友達と遊びに行ったり、プライベートを生き生きと楽しむあなたの姿を見て、向こうはどう出るでしょうね? そのつど騒ぐ彼女たちを、「高みの見物」するのも楽しいですよ。

家族で泊まりに来るずうずうしい友人にウンザリ

Y・Sさん (36歳)

遠方に住む友人が、家族でよく泊まりに来ます。その数日間の食事代、遊びにいくときの交通費……全部全部、我が家持ち! 私は専業主婦なので、夫に負担をかけているのが辛くて。ガソリンと言いたいけれど、心の狭い人だと思われるのもイヤで、つい我慢してしまいます。

家庭を守るためにはっきりと「NO」を!

我慢するのは間違いです。あなたには、お友達から家庭を守る「義務」があるんですよ。

心が狭いと思われたくない、と考えるあなたは、「いい人」だと思われたいのですね。そんな見栄にとらわれるのはもう、やめませんか? そもそもこんな厚かましい人にNOと言っても、心が狭いことにはなりません。

むしろ、はっきり意志を伝えることで、お友達はあなたを見直すかも。逆に、スネたりゴネたりするようなら、友達失格です。

次に彼女が「また泊まらせて」と頼んできたなら、「ウチが全部お金を出すのは、負担なの!」——この一言を、しっかり投げかけて。

カゲキ先生に相談したいお悩みはこちらへ!

「①氏名②掲載希望名③年齢④住所⑤電話番号⑥メールアドレス⑦お悩みの内容」を記載のうえ、下記の宛先までメールまたは郵便でお寄せください(電話またはメールで、お悩みに関する質問をさせていただくことがあります)。掲載された方には図書カード¥2,000分をプレゼントします。

【宛先】●メール kageki@karakoto.com ●郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル5F からだにいいこと編集部「あたためるコトバ」係



今月の

KAGEKI FASHION

フェミニンなトップス、大胆にカットしたパンツ。鮮やかな配色に乗せてキュート&ワイルドに!